平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月13日

上場会社名	株式会社　ムサシ		上場取引所　大
コード番号	7521	ＵＲＬ　http://www.musashinet.co.jp	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）小林　厚一	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役財務部長	（氏名）青坂　修司	ＴＥＬ　03-3546-7710
四半期報告書提出予定日	平成24年11月14日	配当支払開始予定日	平成24年12月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　有

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	16,849	△11.2	△26	－	28	△95.5	△322	－
24年３月期第２四半期	18,968	△10.8	572	△51.3	632	△49.4	295	△43.9

（注）包括利益　25年３月期第２四半期　△384百万円　（－%）　　24年３月期第２四半期　309百万円　（△29.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	△40.59	－
24年３月期第２四半期	37.22	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	37,462	23,192	61.9
24年３月期	39,198	23,656	60.4

（参考）自己資本　　25年３月期第２四半期　　23,192百万円　　24年３月期　　23,656百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	10.00	－	10.00	20.00
25年３月期	－	10.00			
25年３月期（予想）			－	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,897	△3.2	559	△29.7	667	△25.1	86	△77.8	10.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：有
④　修正再表示　：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P．３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	7,950,000株	24年３月期	7,950,000株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	6,398株	24年３月期	6,003株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	7,943,865株	24年３月期２Ｑ	7,944,096株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等があったものの、個人消費は回復せず、円高による輸出産業の停滞、欧州債務問題の長期化や中国の景気減速懸念など多くの企業業績下振れリスクを抱え、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

（情報・印刷・産業システム機材）

情報システム機材は、文書のデジタル化業務の受注が、顧客の投資抑制や単価下落の影響を受けたほか、大口の受注が減少したため落ち込みました。また、スキャナーなどドキュメントの電子化機器の販売も減少しました。

印刷システム機材は、印刷需要が冷え込む厳しい環境の中、デジタル印刷機器・材料の販売とも若干低調に推移いたしました。

（金融汎用・選挙システム機材）

金融汎用システム機材は、一部の貨幣処理システムの販売に伸長が見られたものの、金融機関など主力市場の需要低迷の影響により、貨幣処理機器、セキュリティ機器の販売とも全般的に落ち込みました。

選挙システム機材は、地方選挙向けに投票用紙読み取り分類機の販売は概ね順調でしたが、全体的には低調に推移いたしました。

（紙・紙加工品）

紙・紙加工品は、広告宣伝需要の低迷と安価な輸入紙の流入による市況悪化の影響で印刷用紙の販売が落ち込みましたが、感光材料用の特殊包装紙や高級紙器用板紙などの販売が伸長したため、概ね順調に推移いたしました。

（その他）

不動産賃貸業等は、堅調に推移いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は168億49百万円（前年同四半期比11.2％減）、営業損失は26百万円（前年同四半期は営業利益５億72百万円）、経常利益は28百万円（前年同四半期比95.5％減）となり、「その他」セグメントにおいて固定資産の減損損失２億47百万円を特別損失として計上したため、四半期純損失は３億22百万円（前年同四半期は四半期純利益２億95百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は274億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億２百万円減少いたしました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（11億96百万円）及び有価証券の減少（２億99百万円）、増加の主な要因は、商品及び製品の増加（２億94百万円）であります。固定資産は、99億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億33百万円減少いたしました。減少の主な要因は、減損損失に伴う土地の減少（２億47百万円）、投資有価証券の減少（１億20百万円）及び投資その他の資産の「その他」の減少（１億74百万円）であります。

この結果、総資産は、374億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億36百万円減少いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は123億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億93百万円減少いたしました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（９億20百万円）であります。固定負債は19億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億78百万円減少いたしました。減少の主な要因は、固定負債の「その他」の減少（２億98百万円）であります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は231億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億64百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失３億22百万円及び剰余金の配当79百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.9％（前連結会計年度末は60.4％）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は前連結会計年度末に比べ２億６百万円減少し、142億76百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は１億65百万円となりました。（前年同期は23億88百万円の資金獲得）

これは、売上債権の減少11億95百万円、減価償却費１億65百万円等の収入要因がありましたが、仕入債務の減少９億20百万円、たな卸資産の増加３億46百万円、税金等調整前四半期純損失２億65百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は42百万円となりました。（前年同期は１億47百万円の資金使用）

これは、有価証券の売却及び償還による収入１億円、投資活動におけるその他の収入91百万円等の収入要因がありましたが、有形固定資産の取得等による支出１億56百万円により相殺されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は81百万円となりました。（前年同期は１億５百万円の資金使用）

これは、配当金の支払79百万円等の支出によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年10月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想の変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の経常利益は４百万円増加し、営業損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ４百万円減少しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,343	14,336
受取手形及び売掛金	11,388	10,191
有価証券	299	―
商品及び製品	1,509	1,803
仕掛品	79	53
原材料及び貯蔵品	288	366
その他	823	769
貸倒引当金	△48	△40
流動資産合計	28,683	27,480
固定資産		
有形固定資産	3,782	3,590
無形固定資産	136	113
投資その他の資産	6,595	6,276
固定資産合計	10,514	9,981
資産合計	39,198	37,462
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,359	7,438
短期借入金	3,532	3,532
未払法人税等	47	57
賞与引当金	406	367
製品保証引当金	150	122
その他	857	840
流動負債合計	13,352	12,359
固定負債		
退職給付引当金	211	194
役員退職慰労引当金	863	900
その他	1,114	815
固定負債合計	2,189	1,910
負債合計	15,542	14,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	20,418	20,016
自己株式	△8	△8
株主資本合計	23,624	23,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	△29
その他の包括利益累計額合計	32	△29
純資産合計	23,656	23,192
負債純資産合計	39,198	37,462

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	18,968	16,849
売上原価	15,118	13,631
売上総利益	3,849	3,218
販売費及び一般管理費	3,277	3,244
営業利益又は営業損失（△）	572	△26
営業外収益		
受取利息	31	23
受取配当金	27	23
貸倒引当金戻入額	－	7
その他	28	44
営業外収益合計	87	98
営業外費用		
支払利息	20	19
持分法による投資損失	3	19
その他	4	3
営業外費用合計	27	42
経常利益	632	28
特別利益		
固定資産売却益	－	1
資産除去債務消滅益	22	－
特別利益合計	22	1
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券売却損	－	0
投資有価証券評価損	33	37
会員権売却損	0	1
会員権評価損	5	7
減損損失	－	247
特別損失合計	39	295
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	615	△265
法人税、住民税及び事業税	154	54
法人税等調整額	165	2
法人税等合計	319	57
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	295	△322
四半期純利益又は四半期純損失（△）	295	△322

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	295	△322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△58
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△3
その他の包括利益合計	13	△61
四半期包括利益	309	△384
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	309	△384

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	615	△265
減価償却費	185	165
減損損失	－	247
投資有価証券売却損益（△は益）	－	0
投資有価証券評価損益（△は益）	33	37
固定資産除却損	0	1
貸倒引当金の増減額（△は減少）	26	△7
賞与引当金の増減額（△は減少）	△32	△39
製品保証引当金の増減額（△は減少）	－	△27
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2	△16
前払年金費用の増減額（△は増加）	9	29
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△48	36
受取利息及び受取配当金	△58	△46
支払利息	20	19
為替差損益（△は益）	2	2
持分法による投資損益（△は益）	3	19
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△1
売上債権の増減額（△は増加）	2,821	1,195
たな卸資産の増減額（△は増加）	130	△346
その他の流動資産の増減額（△は増加）	136	94
仕入債務の増減額（△は減少）	△993	△920
未払金の増減額（△は減少）	△19	△27
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△165	△51
資産除去債務消滅益	△22	－
その他	△319	△315
小計	2,327	△215
利息及び配当金の受取額	62	47
利息の支払額	△20	△20
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	18	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,388	△165

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△0
有価証券の売却及び償還による収入	－	100
有形固定資産の取得による支出	△190	△156
有形固定資産の売却による収入	1	5
無形固定資産の取得による支出	△29	△2
投資有価証券の取得による支出	△5	△4
投資有価証券の売却による収入	0	6
貸付けによる支出	△0	－
貸付金の回収による収入	78	0
その他	△3	91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147	42
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△103	△79
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105	△81
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,132	△206
現金及び現金同等物の期首残高	13,961	14,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,093	14,276

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	12,733	2,805	3,315	114	18,968	－	18,968
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	0	131	133	△133	－
計	12,734	2,805	3,315	246	19,101	△133	18,968
セグメント利益	99	389	2	79	571	1	572

（注）１．　セグメント間取引消去であります。
２．　セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,856	1,688	3,188	115	16,849	－	16,849
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	－	128	128	△128	－
計	11,857	1,688	3,188	244	16,978	△128	16,849
セグメント利益又は損失（△）	136	△260	7	87	△28	1	△26

（注）１．　セグメント間取引消去であります。
２．　セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
「その他」セグメントにおいて賃貸駐車場（土地）について、地価の下落により減損の兆候が認められたため、当該土地に係る回収可能性を検討した結果、当第２四半期連結累計期間において減損損失を特別損失として247百万円計上しております。